

大津シンフォニックバンドは滋賀県大津市に高い技術力と音楽性の追求を目的とするバンドを目指し、1979年創立。略称は「OSB」。2019年に創立40周年を迎えた。

現在、団員約70名で、年2回の定期演奏会の開催、吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテストへの参加の他、滋賀県吹奏楽連盟主催の各種行事への参加、各種の依頼演奏等の地域文化活動に参加している。

吹奏楽コンクールでは関西代表としてこれまでに18回全国大会出場を果たし、金賞14回、銀賞3回、銅賞1回の成績を収めている。

「シンフォニア・タップカーラ」「玄装・写楽・鳳凰」「創立30周年記念」の3枚のCDをリリースしている。21世紀の吹奏楽新作邦人作品の祭典「響宴」にも4回出場し、ライブCDも市販されている。

1990年には滋賀県文化奨励賞、1999年に大津市文化賞を受賞するなど、滋賀県を代表とする吹奏楽団として活躍している。



・第79回大津シンフォニックバンド定期演奏会

新型コロナウイルス感染拡大の影響で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令され、予定通りの練習が困難な中、少人数での練習や検温・消毒・換気などの感染防止対策を徹底しながら、少しずつ定期演奏会に向け練習を重ね、2021年12月5日（日）滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールにて第79回大津シンフォニックバンド定期演奏会を開催することができました。



定期演奏会では、団員は検温や消毒を練習時同様、徹底しました。また、本番では着席するまでマスク着用をし、着席後にマスクを外すことや、マスクを着用したまま演奏可能な奏者には本番時も常時マスクの着用を徹底しました。



ホワイエには手指消毒用のアルコール液を設置し、お客様にはマスク着用のお願いとホール入口にて検温をしてお入り頂きました。



客席は一席ずつ空けて着席して頂くよう、着席不可の席に貼り紙を設置しました。



このような新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施し、第79回大津シンフォニックバンド定期演奏会は前回の定期演奏会より多くの方にご来場いただき、大盛況のもと開催することができました。